



節分会 星祭り

とき 2月3日(木) 17時
ところ 豊隆寺(79-2064)



厄払いいたします
<厄年>

男	女
平成10年生まれ	平成16年生まれ
昭和56年生まれ	平成2年生まれ
昭和37年生まれ	昭和37年生まれ

浜益小5・6年生が 動画配信を始めました!

YouTube

「浜益小学校」「コロナに負けるな浜益チャンネル」
で検索してね!



まち協の
ちよこつとエッセイ



冬の観光は△リ、を覆した
「イチイに会いに行くツアー」

2019年1月。おそらく浜益で「初めて」となる冬のバスツアーが行われた。しかもそのバスツアーは、黄金山登山道入口から歩いて、イチイの木まで行くという「体力を使う」もの。浜益の人間としては、わざわざこんな遠くに疲れる思いをしに来る人なんているのかな? 正直、そう思ったものだ。

ところが、ツアーはあっという間に満員御礼状態の一報が。当日は一番の心配であった天気にも恵まれ、参加者のみなさんは、長い道のりを楽しそうに歩いていた。そして翌年のツアーも満員。なかには2年連続で来てくれた方もいた。

冬のイチイは、一面真っ白な世界に、まるで森の神様のようについで、夏のそれとは違う感動があった。そのとき初めて、わざわざ来る人の気持ちがあった気がした。イチイはおよそ1500歳。倒れた千本ナラのように、いつかはこの光景が見られなくなるかもしれないのだ。そう思ったら、毎年会いに行きたくなった。

昨年は新型コロナウイルスの影響でバスツアーが中止、今シーズンも国有林の伐倒作業で登山道に入れないためツアーは休止状態だが、我々の「冬の観光は△リ」を覆したこのツアーを、今後も大切に育てていきたい。

(真)



いいもの見つけた! 郵便局の無人販売所

浜益郵便局内に、無人販売所があるのをご存じでしたか?

この時は浜益米が販売されていきました。ほかの商品も応相談で販売できるそうです。

最近は地元のを気軽に買える場所がないなあと思い、まち協でも取り組んでいます。郵便局に無人販売所ができるなんて! ステキな取り組みですね。

今後、商品が増えるのを楽しみにしています。

地域の宝を知ろう

第3回 荘内藩ハママシケ陣屋跡

川下・八幡神社の奥にある「荘内藩ハママシケ陣屋跡」は、歴史的な遺構を留めているとして昭和63年に国の指定史跡となりました。

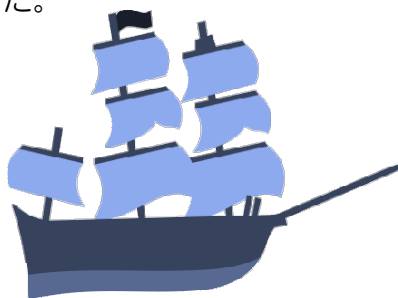
しかし、地元の私たちは、この陣屋跡についてどれだけ知っているのでしょうか？
どのような歴史があるのかを知ってもらえるよう、数回に分けて紹介していきます。

＜せっかく村が出来てきたのに…荘内（山形）へ帰ることに＞

荘内藩が順調にハママシケの開墾をしていたその頃、世の中では大きな動きがありました。約270年という長い間、政権をにぎっていた徳川幕府と、天皇を中心とした新しい国家をめざす新政府軍が衝突し、戊辰戦争へと発展したのです。

巻き込まれたくなくても、巻き込まれてしまうのが戦争です。荘内藩の酒井家が代々徳川家に仕えてきたことから、新政府軍に仇（かたき）とされてしまいました。

こうして、荘内藩は郷土と民を守るため、戦うことになりました。



もはや北海道で畑を耕している場合ではなくなり、陣屋から引き揚げが始まりました。建物はすべて取り壊され、何も残っていません。陣屋を設置し、開墾を始めてから、わずか9年のことでした。

もう荘内に戻ることはない、と覚悟を決めて移住した人たちは、どう思ったことでしょうか。苦勞して切り開いた地を捨てることができず、ハママシケに残った人や、戦争が終わってから戻って来た人もいたそうです。

＜荘内藩と川下八幡神社＞

川下八幡神社は、荘内藩の人たちが建立し、元々は陣屋の中にありましたが、みんなが引き揚げてからは荒れ果てていく一方でした。そこで、川下の人たちが今の場所に移し、今でも大切に管理し続けています。



＜荘内藩土のお墓＞

昔の大心寺は、はまます保育園の横にありました。大心寺は荘内藩に関係するお寺で、今でも荘内藩土のお墓が2つあります。開墾作業の中、病気で亡くなってしまったため、この地に葬られました。

荘内藩ハママシケ陣屋のお話は、これで終わります。

もっと知りたい！という方は荘内藩陣屋研究会まで
（事務局の佐藤さんが図書館分館にいます。分館は資料も充実してますよ！）